

高等学校 令和7年度

教科

国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1組：渡辺） （2組：木村） （3組：木村） （4組：渡辺） （5組：木村） （6組：渡辺）

使用教科書：（数研出版 論理国語）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

| 【知識及び技能】                    | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|-----------------------------|---|--|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容   | 領域   |     | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |   |
|-------------|---|--|-----|------|---|---|---|----------|---|
|             |   | 話・聞  | 書・読 |      |   |   |   |          |   |
| 1<br>学<br>期 | 「いき」の美学   | ・筆者が述べる「二重構造」「いき」の内容を理解する。<br>・日本人の美意識について考える。   |     | ○    |   |   |   | ○        | 8 |
|             | 「文化が違う」とは何を意味するのか？  | ・「新しい普遍性」という表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連づけて考察する。  |     | ○    |   |   |   | ○        | 8 |
|             | 定期考査 I  |  |     |      |   |   |   | ○        | 1 |
|             | 学問の政治性  | ・「無意識のバイアス」の内容を理解し、筆者が述べる問題点を踏まえたうえで、具体例をあげて論述する。<br>・「政治」に関する二つの文章を関連づけて読み、自分の意見を述べる。 |     | ○    |   |   |   | ○        | 8 |
|             | 「である」ことと「する」こと  | ・各段落の要旨をまとめ、「民主主義」についての筆者の考えをとらえる。<br>・文章内容を新聞の投稿文の内容と関連づけて考察する。                       |     | ○    |   |   |   | ○        | 7 |
| 定期考査 II     |   |  |     |      |   |   | ○ | 1        |   |
| メディアのテロル    | ・「物語」と「情報」の対比構造を読み取り、「テロル」としての「メディア」の具体的な内容をとらえる。<br>・情報を発信・受信するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、その有効性や問題点を話し合う。 |  | ○   |      |   |   | ○ | 7        |   |
| 意志と選択       | ・「意志」と「選択」についての筆者の問題提起と主張をとらえる。<br>・意志と選択を混同している例を具体的に考える。  |  |     |      |   |   | ○ | 7        |   |

